２０２３（令和５）年度
東北大学法科大学院入学試験　一般選抜（前期）・法曹基礎課程特別選抜（開放型）
試験科目：民事法（民法）

以下の【第１問】から【第３問】までのすべての問いに答えなさい。

【第１問】（解答は 12 行程度で行いなさい。）

Ａは，Ｂから，Ｃ所有の甲建物を買い受け，Ａ名義の所有権移転登記を受けた。これは，Ｃの父Ｂが，Ｂ名義の借金を整理する際に，Ｃを代理する権限がないにもかかわらず，Ｃの代理人であると称して，甲をＡに売り渡したものであった。その後，Ｂが死亡し，唯一の相続人であるＣがＢを相続した。Ｃは，上記の事情に気付き，Ａに対し，甲について所有権移転登記抹消登記手続を請求しようとしている。この請求は認められるか，論じなさい。

【第２問】（解答は８行程度で行いなさい。）

Ａは，自己が所有し自宅で保管している甲絵画を，Ｂに 600 万円で売却する旨の契約を締結した。甲の引渡しが７月１日正午に行われるべきことはAB 間で取り決められたが，引渡しの場所は取決めがなく，代金支払の日時・場所の取決めもなかった。この場合，Ｂは，いつ，どこで代金を支払うべきか，説明しなさい。

【第３問】（解答は 12 行程度で行いなさい。）

Ａは，甲土地を所有している。甲の隣地である乙土地は，Ｂの所有である。Ｂは，甲と乙の境界付近の乙の上に高さ約７メートル，幅約 20 メートルの石垣（以下「本件石垣」という）を占有かつ所有し，甲と乙を区画している。本件石垣は，約 50 年前にＢの父が築造したもので，上端から下端まで複数の亀裂が走っていた。ＢがＡの修理の要請に応じないままでいたところ，梅雨の時期の降雨により，本件石垣は全面にわたって崩壊し，その大量の石及び土砂によって甲は埋まってしまった。ＡはＢに対して甲上の石及び土砂の撤去費用について損害賠償を請求しようとしている。この請求は認められるか，説明しなさい。